



じょうそう ほこね
上層 箱棟

ちようぶ
屋根の頂部に箱棟を組み立て
ました。

ここの部分です



(公募写真)

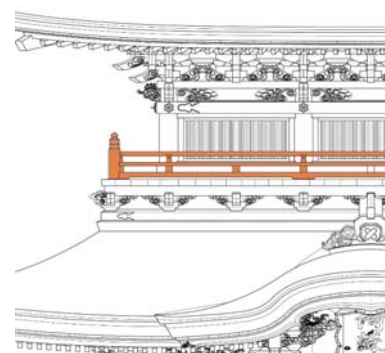
おおとびら
大扉

大扉を取り付けました。
修理が完成した暁には、この
大扉は修理前と同様に開放さ
れたままとなるそうです。
閉じた状態を見られるのは今
だけです。



えんまわ こうらん
縁廻り 高欄

縁の高欄を組み立てています。





みのこうぶぶん
箕甲部分

箕甲部分の型取りをしました。
型に合わせて銅板を加工しま
す。



みのこう
箕甲 加工

型板に合わせ、切り出した銅板
にハゼを付ける加工を行いました。



のきづけ
軒付加工

細かい部材で非常に手間のか
かる部分です。



からほふ のきつけ
唐破風 軒付

下層の唐破風部分の軒付を先行して取り付けました。



おに どうぼんつつ
鬼 銅板包み

熱して柔らかくした銅板を叩き、鬼の彫刻を打ち出します。銅板は熱すると叩くまで柔らかいままという性質があります。叩くことで硬くなります。



おに どうぼんつつ
鬼 銅板包み

丁寧に打ち出していくと木下地にぴったりと叩き出すことができます。凹凸のある面を破れないように打ち出すことは、大変繊細で地道な作業で、熟練した技を必要とします。

